

繰上償還に伴う経営改革促進効果（つづき）

2 年度別目標等

(5) 下水道事業

(千円)

区分	目標又は実績	平成14年度 (計画前5年度) (決算)	平成15年度 (計画前4年度) (決算)	平成16年度 (計画前3年度) (決算)	平成17年度 (計画前々年度) (決算)	平成18年度 (計画前年度) (決算見込)	計画前5年間 実績	平成19年度 (計画初年度)	平成20年度 (計画2年度)	平成21年度 (計画3年度)	平成22年度 (計画4年度)	平成23年度 (計画5年度)	計画合計
収入の確保	処理区域内人口(人)	2057	2042	2044	2062	2073		2080	2083	2086	2089	2092	
	A 増減	-70	-15	2	18	11	-54	7	3	3	3	3	19
	水洗便所設置済人口(人)	1641	1655	1709	1743	1761		1768	1771	1774	1777	1780	
	B 増減	6	14	54	34	18	126	7	3	3	3	3	19
	水洗化率(%)	79.8	81.0	83.6	84.5	84.9		85.0	85.0	85.0	85.0	85.1	
	C 増減	2.9	1.3	2.6	0.9	0.4	8.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
	有収水量(m³)	287008	283263	280327	293742	286300		290400	290400	291600	291600	292800	
	D 増減	-4992	-3745	-2936	13415	-7442	-5700	4100	0	1200	0	1200	6500
	使用料単価(円/m³)	97	97	96	95	94		95	115	115	115	115	
	(使用料収入/有収水量)	2	0	-1	-1	-1	-1	1	20	0	0	0	21
E 増減	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	22	
料金改定率(%)	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	22	
(料金改定実施年度に記載)	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	22	
F 増減	95	97	97	98	98	98	98	98	98	98	98	98	0
収納率(%)	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G 増減													
その他()	H 増減												
経営の効率化	職員1人当たりの営業収益(千円)	5558	5515	5398	5578	5402		5508	6708	6736	6736	6764	
	増減	-18	-43	-117	180	-176	-174	106	1200	28	0	28	1362
	職員数(人)	5	5	5	5	5		5	5	5	5	5	
	増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理運営費(千円)	56857	63077	59412	61595	55619		57182	55332	48396	47784	47155	
	I 増減	266	6220	-3665	2183	-5976	-972	1563	-1850	-6936	-612	-629	-8464
	処理区域内人口1人当たりの管理運営費(千円)	28	31	29	30	27		27	27	23	23	23	
	(I/A)	J 増減	1	3	-2	1	-3	0	0	-4	0	0	-4
	汚水処理原価(円/m³)	242	275	269	243	203		265	239	220	220	222	
	(汚水処理経費/有収水量)	K 増減	-13	33	-6	-26	-40	-52	62	-26	-19	0	2
汚水処理原価(維持管理費)(円/m³)	145	172	163	143	152		158	157	134	134	134		
(汚水処理経費(維持管理費)/有収水量)	L 増減	6	27	-9	-20	9	13	6	-1	-23	0	0	-18
M 増減													
使用料回収率(%)	400	354	358	391	465		358	483	525	525	520		
(E/K×1,000)	増減	22	-46	4	33	74	-107	125	42	0	0	-5	
累積欠損金比率(%)	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		
増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
企業債現在高(百万円)	414	405	386	384	364		345	328	309	291	277		
増減	15	-9	-19	-2	-20	-19	-17	-19	-18	-14			
収入の確保	使用料収入	27788	27575	26992	27890	27008		27542	33541	33679	33679	33818	
	改善額	-94	-307	-890	8	-874	-2157	534	6533	6671	6671	6810	27219
	有収水量の増加	-94	-307	-890	8	-874	-2157	534	534	672	672	811	3223
	使用料の適正化								5999	5999	5999	5999	23996
	収納率の向上												
その他()													
経営の効率化	管理運営費	56857	63077	59412	61595	55619		57182	55332	48396	47784	47155	
	うち職員給与費中の退職手当を除いたもの	56072	62128	58409	60590	54541		55971	54121	47810	47198	46569	
	改善額	0	0	0	502	1345	1847	0	0	4597	4597	4597	13791
	職員給与費の適正化	0	0	0	502	1345	1847	0	0	4597	4597	4597	13791
	維持管理費(上記以外)の適正化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち職員給与費中の退職手当	785	949	1003	1005	1078		1211	1211	586	586	586	
その他()													
改善額													
計画前5年間改善額 合計							-310	改善額 合計					41010

計画前年度において使用料単価150円/m³(20m³当たり3,000円)未満(処理原価が150円/m³未満の場合は処理原価未満)の事業にあっては、下記に使用料適正化の考え方を記載し、当該適正化による増収額を記載すること。

「収入の確保、その他」の例：未利用地の売却、資産の有効利用(用地等の貸付)、再生水の販売収入など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

「経営の効率化、その他」の例：建設コストの縮減(上下水共同施工の実施、工法の見直し・技術開発の促進など、建設改良費の抑制は除く。)、電気・機械設備等の計画的修繕による長寿命化など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

(参考) 補償金免除額 1677

(収入の確保及び経営の効率化に向けた取組について)

使用料適正化の考え方

現在の使用料は、90円/m³であるが、今般の状況を考慮して110円/m³に料金改定を行う予定にしています。

民間委託の取組状況

現在のところ、民間委託は行う予定はありませんが、将来的には指定管理者制度の導入も検討します。

その他に記載された項目に関する取組等